

あとがき

4月のインド、6月のローマに続いてバリ（インドネシア）の国際学会にお招きいただきました。10月下旬、日本ではもう朝夕だいぶ冷え込みますが、こちらではまだホテルのお客さんは海水浴を楽しんでいます。“East meets West”と題した頭頸部がんに関する roundtable にオランダ、イタリア、インドネシア、タイの先生とご一緒しました。ご存知のように、現在では、米国では中咽頭がんの大半が、本邦でも約半数がHPV関連ですが、ASEAN 諸国では2〜3割、欧州でもまだ約3割だそうです。日本と同様に遺伝的にアルデヒド脱水素酵素活性が弱い人が多いASEAN 諸国は兎も角、オランダやイタリアでも頻度が低いのは意外でした。同じ白人でもいわゆる sexual behavior が違うのでしょうか。

一方、ローマでは高齢者の頭頸部がんに関するパネルディスカッションに参加しました。本邦同様、欧米諸国でも高齢化が進み、さまざまな併存症や臓器機能・認知機能の低下を抱える高齢者の治療に悩まされているようです。特に再建を伴う長時間の手術では術前・術中・術後の管理は大変です。

ということで、今月号は、東京慈恵会医科大学附属病院手術部長をお務めの鴻先生に、周術期管理について特集をご企画いただきました。腎機能低下や心不全、糖尿病や肺機能低下など高齢者でよくみられる併存症、口腔がんや咽頭がんの患者でしばしばみられる極度の痩せ、甲状腺がんの女性患者でよくみられる高度の肥満、周術期に休薬が必要な薬剤、ペースメーカなどさまざまな状況への対応に加え、術後の全身管理や疼痛管理のポイント、日帰り手術患者の管理の注意点まで網羅しています。全身麻酔・局所麻酔を問わず、手術に従事する耳鼻咽喉科医・頭頸部外科医にとって必読の一冊となりました。ぜひ、ご購入いただき、外来や病棟のデスクの傍らに常備していただきたいと思います。

(丹生健一)

[編集顧問]

坂井 真
八木 聡明
竹中 洋
吉原 俊雄
小川 郁

[編集委員]

丹生 健一
鴻 信義
大石 直樹

本誌は1928年に久保猪之吉によって「耳鼻咽喉科」として創刊され、1988年に「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」と改題いたしました。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科（第95巻 第13号）

2023年12月20日発行（毎月1回20日発行）

定価：2,970円（本体2,700円＋税10%）

（2023年年間購読料（増刊号を含む13冊、送料込）

冊子版/通常 43,626円（税込）
冊子版/個人特別割引 40,128円（税込）
電子版/個人特別割引 40,128円（税込）
冊子＋電子版/個人特別割引 45,628円（税込）

「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」ホームページ

<https://www.igaku-shoin.co.jp/journal/411>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5710

（担当 鶴淵・小路）

販売・PR部直通 (03) 3817-5659

ファクシミリ (03) 3815-7802（編集室）

E-mail: jikotokei@igaku-shoin.co.jp

印刷所 三報社印刷(株)

広告取扱 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

別刷取扱 販売・PR部 電話 (03) 3817-5696

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2023, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

・本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」は株式会社医学書院の登録商標です。